

京都市立京極幼稚園 教育目標の全体構想

文部科学省 幼稚園教育要領

健康：健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。

人間関係：他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人とのかかわる力を養う。

環境：周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもってかわかり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。

言葉：経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。

表現：感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

京都市教育委員会

「学校教育の重点」

目指す子ども像～伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り拓く子ども～

京極幼稚園教育目標

心豊かにたくましく生きる
子どもの育成

目指す子ども像

- ・ 豊かな感性と創造力のある子ども
- ・ よく考えて自分で行動する子ども
- ・ 互いに認め合い協力する子ども
- ・ 最後までやり遂げようとする子ども

幼稚園・地域の実態

- ・ 京都市のほぼ中心部に位置し、世界遺産の下鴨神社や商店街が区内にあり、観光客の多い地域である。
- ・ 幼稚園は閑静な住宅街の中にある。相国寺、京都御苑、鴨川など地域の資源に恵まれている。
- ・ 園児数29名、学級数2、2年保育の幼稚園である。
- ・ 同じ地域の鶴山保育所、京極小学校、室町小学校などと連携を図っている。
- ・ 預かり保育や未就園児教育相談など子育て支援事業を活用する保護者が多い。

幼児の実態・落ち着いた家庭環境で生まれ、素直で人懐っこく、何事も

やってみようとする興味や意欲をもっている。

- ・ 失敗を恐れたり、物事をあきらめたりすることがある。

本園の経営方針

- ・ 遊びや生活を通して、自己肯定感をもち、環境に主体的にかかわろうとする意欲や態度を培う。
- ・ 幼保、幼小の連携を図り、相互理解を進めることにより、学びがつながるように配慮する。
- ・ 職員同士が連携をとり、安全管理に細心の注意を払う。
- ・ 研修や保育実践に積極的に取り組み、教師としての専門性を高める。
- ・ 保護者や未就園児の保護者の教育力を高める、子育て支援の取組を進める。
- ・ 幼児期の子どもの育ちに視点を当てた、具体的な姿を地域に発信する。
- ・ 個々の発達課題を把握し、その子に応じた指導を考え、総合育成支援教育の充実を図る。

重点課題と課題達成に向けての具体的取組

- 遊びを通して育つ主体性や自信を小学校へつなぐために
 - ・ 同一地域の就学前施設である鶴山保育所との交流保育を行い、子どもの育ちを確かめる。また、公開保育を行い、教師、保育士間で幼保の違いや共通点をお互いに理解する研修を行う。(幼保連携プロジェクトの取組と成果の発信)
 - ・ 子どもの交流や教員間の連絡会などで子どもの姿を伝え、地域の小中学校との連携を図る。
- 開かれた幼稚園の運営を目指して
 - ・ 地域の人々との交流活動を預かり保育に取り入れ、地域の人々に親しみをもつ機会を作る。
 - ・ 保護者、地域への幼稚園教育の発信を図る。(学級だより、地域版の発行、ホームページの更新)
 - ・ 保護者評価や学校関係者評価を実施し、教育活動の改善に努める。